

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 粉河青空		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 11月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 5日 ～ 2024年 11月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学生のみを対象としているので、子どもたちに合った活動を行えること	・6年生を中心として、子どもたちが安全に楽しめるように活動内容を考えています。	・子どもたちのやりたいことを見つけて、一緒に取り組み、活動を行っています。
2	・施設に外あそびができる場所が確保できていること。	・少しの時間だけでも外に出て体を動かしてあそべるように、呼びかけをしています。	・からだを動かしてあそび、自分のからだの動かし方を身につけていけるような、あそびを取り入れています。
3	・地域との交流ができていますので、住民の理解を得ているところ。	・散歩に出かけた時には、大きな声で挨拶をし、地域の人々に見守ってもらっています。 ・粉河祭りの太鼓の演奏を聞かせていただいて、体験もさせてもらっています。	・地域の方々との交流の場をたくさんつくっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員体制では、高齢化してきているので、子どもたちと走り回れる職員が少ないこと。	・若い職員の採用と育成を行っていきたい。	・職員の募集を行い、現職員のキャリアアップもしていきます。
2	・職員体制の面で、地域の小学校へのお迎えができないこと	・保護者に送迎をおねがいしています。	・職員を確保していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 粉河青空

公表日 2025年1月10日

利用児童数 28名

回収数 23

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	0	0	13	・移転してから中に入ったことがないので、わかりません。 ・新しい施設をまだ見たことがないため。 ・新しくなった場所を1回も見ていないため。	・平屋の作りになっているので、室内は扉を外して1つの部屋になっています。1か所、静養室も設けています。外遊びも、十分に楽しめるように工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2	1	10	・少ないと思います。 ・何人いるのか、わからない。	・利用児3～4名につき1名の職員を配置しています。それぞれが、必要な研修を受けて活動に参加しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	0	13		・子どもたちにわかりやすい声かけを行いながら、活動していきます。職員が自ら動き伝えていきます。バリアフリーにも対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	15		・子どもたちが快適に過ごせるように、日々の衛生管理を徹底して活動しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	3		・定期的に会議を行い、こどもたちの様子を話し合い、支援に取り組んでいます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	2	0	1		・職員全員で共有し、日々の活動内容を検討していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0		・昨年度の計画や相談員の計画書をもとに、日々の活動の様子を見たらうで、面談や送迎時に得た、保護者の意見を取り入れたらうで、計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1	0	0		・本人支援、家族支援、移行支援をとりいれた、具体的にわかりやすい計画書を作成していけるように、努力しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	1		・職員全員で計画を共有し、計画に沿った支援が行えるように、話し合いを行いながら、活動していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	4	0	1		・定期的に、子どもたちの様子を職員全員で話し合いながら、こどもの成長に合わせた計画を立てていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	2	13		・新しい企画を検討しています。他事業所との交流をもできればと思っています。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0		・入所前の説明会や見学時に説明をしています。わからないことがあれば、いつでも相談してもらえるような関係作りをしています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1	0	0		・年度末に保護者説明会を行い、事業方針の説明をしています。お便りとして事業方針を配布しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1	0	2		・プログラムはありませんが、保護者、家族に応じた助言や支援を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	4	1	0		・送迎時などに、保護者と子どもの様子を伝え、理解しあえるように努力していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	3	1	0		・計画作成時などに面談を行います。心配事や不安なことを相談してもらえるように、より良い関係性づくりに努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	5	0	1		・保護者の気持ちに寄り添いながら、共感してもらえるように努力していきます。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	4	0	1		・保護者同士の交流の場を設けて、関係性を広げていけるようにしていきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3	0	2		・いつでも相談してもらえるよう体制を整えています。必要であれば、相談員と連絡を取り合って、対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	4	0	0		・送迎時に伝えるだけでなく、連絡ノートなどにも記入して伝えています。電話やラインなどを利用して、保護者との連絡もとってきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	0	0	0		・月に1回のお便りと行事予定を配布し、法人から年に3回、お便りが発行されています。事業所評価と自己評価の結果も伝えています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	3	0	1		・個人情報の取り扱いについては、個人で持ち歩かないことや、口外しないこと。破棄する場合はシュレッダーにかけようとしています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	0	0	1		・緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを作成しています。これをもとに、訓練などを計画、実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	0	4		・非常災害についてのマニュアルを作成しています。避難場所への避難回路の確認し、避難訓練に取り入れています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2	0	3		・支援計画説明時に避難場所を伝え、その時の対応などを説明していきます。避難訓練を通して、子どもたちが安全に行動できるように支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	1	3		・電話連絡や連絡ノートに記入して伝えています。病院受診が必要な場合は、保護者に連絡確認をして、病院の受診を行います。後日改めて、自宅訪問をさせていただくこともあります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	4	0	0		・落ち着いて過ごせる場所、安心できる場所になるように、子供たちと関わっていききたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	4	0	0	・面倒くさがりなので。	・楽しく過ごせる場所、友だちとあそべる場所になるように、日々の活動を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2	0	0		・保護者との関係を密にし、希望に沿った対応をしていけるように、努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス 粉河青空		2025年1月10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・必要でない仕切りを外して、広々としたスペースを確保し、室内及び屋外でも活動を行っています。	・もっと広い施設が必要 ・室内だけの活動ではなく、外での活動も取り入れて、元気に走り回っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	1	・利用児3～4名に対して1名の職員を配置しています。外出する際には、職員を増やして活動を行っています。	・若いスタッフが必要。 ・子どもたちと一緒に走り回れるように、職員の体力づくり、頑張っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・出入り口のスロープや玄関前の点字ブロックにインターホン、トイレも車椅子での利用が出来ます。	・子どもたちに分かりやすいような配置を行っています。設備等は、状況に応じて今後も対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・活動終わりにみんなで一緒に掃除をしています。活動終了後、職員による掃除、消毒も行っています。	・室内は扉を外して、広い1つの空間になっています。屋外もボール遊びなど楽しめるようになっています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・子どもが落ち着ける場所の確保をしています。必要な時、自分からその場所に行き過すことができるようになっています。	・誰でも入れる場所なので、1人になりたいときには、ほかの子が入らないように配慮していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・パート職員も参加した、事業所での会議で話し合っています。	・職員全員で分担して作成し、話し合いを持てるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・評価表による保護者の意向、要望を受け入れ改善する努力を続けていきます。	・保護者とかかわりの中で、要望を伝えやすい関係性を作っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・事業所内の会議などで職員の意見を聞き事業内容を改善していきます。	・自己評価の結果を受けて、子どもたちに合った活動を行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・報告会を行い、評価をしていただいています。評価の内容を活動に活かしていきます。	・評価を受けて職員間で話し合う時間を持ち、活動内容や支援につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・研修委員会を設けて、研修の機会を確保しています。	・個人的なスキルアップも積極的に取り組んでいます。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・保護者と職員の評価の結果は、ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・保護者の方と面談を行い、課題や目標、心配なことを聞き、計画を作成しています。	・保護者のニーズと本人の意向を反映した支援計画を作成していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・相談員の計画をもとに、職員全員で検討し、計画を作成しています。	・子どもの様子を見ながら、最善の支援を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・職員全員で作成した計画のもと、支援を行っています。	・子どもの成長を職員全員で喜び共有して、次の支援に繋げていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・事業所に合った様式を利用しています。	・相談員との面談にも参加し、状況を把握し、その都度、確認しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・次年度に向けて、新様式での支援計画書を作成しています。「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・連携」の支援内容も具体的な支援内容を設定し、作成していきます。	・より具体的に、保護者の方に分かりやすいように支援内容を説明していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・定期的に会議の中で話し合いを持ち、活動内容を考えています。	・活動に合わせて、担当を決めて職員全員で決めていきます。

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・子どもたちの要望に合わせて、内容を検討していきます。	・毎日行っている、朝礼や終礼の中でも話し合い、その都度、変更していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個別活動の日を多くとっていますが、集団活動を中心とした日も設けて、少しずつでも集団活動に入っていけるように支援しています。	・子どもの得意、不得意を知り、苦手な活動にも参加していけるよう支援し、個別活動でも集団活動でも楽しめるように、活動内容を工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎日、朝礼を行い、活動内容を確認しています。職員同士で協力して活動を行っています。	・当日のリーダーのもと、タイムスケジュール、活動内容を共有しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・活動終わりには、全員揃わないので、次の日などで、反省会を行っています。	・子どもたちの様子を話し合い、支援内容の検討も行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・個人記録や日誌に気づいたことを記入して、後日の支援に繋げていきます。	・振り返りを行うことで、支援内容の検討を行い、改善していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・相談員からのモニタリングも取り入れて、報告書の作成をしています。	・報告書をもとに、職員全員で話し合い、見直しが必要かどうかを判断していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・計画書を新しい様式に変更しています。活動を行う中で、組み合わせ支援を行っています。	・日々の活動の中に、「4つの基本活動」が組み合わされているので、活動の中での、支援内容を職員間で共有していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・主な活動として、自由活動を取り入れていて、興味のありそうな活動を準備しています。	・やりたい気持ちを膨らませて、好きなあそびを見つけ、発展させていけるように支援していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・会議には、児発管が出席しています。	・職員に聞き取りを行い、子どもの様子を話し合っ、最適な職員が出席します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・状況に応じて、対応させていただきます。	・保護者を通じて、主治医からの助言も頂いています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・各学校に働きかけ、情報を共有しています。	・下校時間等の変更は、保護者からの連絡が、主となっています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・事業所の利用が決まったら、園に見学に行き、子どもの様子を見て、引継ぎをして情報共有を行います。	・支援していくうえで、必要な時には、園や事業所に相談し、情報の共有と相互理解に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・保護者の同意を得て、情報を提供しています。子どもの様子に合わせた支援内容を伝え、相談にのっています。	・見学に同席し、新しい場所への不安を少しでも減らせるような声かけ、支援を行い、移行しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・職員の研修は、定期的に行い、外部研修にも参加しています。相談員を通して、連携を図っています。	・相談員を通して、連携を図っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・特に行っていません。	・連携機関を増やし、交流活動を行っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	・機会があれば、参加しています。。	・体制を整え、積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時や連絡帳を用いて、伝えていきます。できるだけ、言葉と文字で伝えていきたいと思っています。	・共通理解ができるように、丁寧に対応していきたいと思っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・保護者対象の学習会も企画し、行っています。	・たくさんの方に参加してもらい、より良い情報を提供していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・年に一度、説明会（交流会）を行い、説明をしています。	・保護者からの問い合わせがあれば、その都度、対応させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・計画を作成するにあたって、保護者との面談を行い、こどもの意見や様子から、最善の支援計画を作成しています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・支援内容を理解して頂いて、同意を得ています。	・電話連絡などで、同意を得ることもあります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・相談や申し入れに関しては、随時、対応しています。	・必要に応じて、相談員を通して、対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	・親子イベントや保護者交流会を行い、保護者同士の交流を行っています。	・保護者同士の連携を深めていくための活動と一緒にしていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情についての対応は、迅速に対応していきます。法人内での、体制も整えています。	・子どもや保護者にも周知し、見直しをしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・月に1度のお便りと年に3回の法人の通信を発行しています。	・今後も、たくさんの人に活動内容を知ってもらえるように発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報の取り扱いには、特に注意しています。	・書類を持ち出さない。破棄する場合は、シュレッダーにかけるようにしています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・できるだけ短く、わかりやすい説明を心がけています。	・簡単な手話やマカトンを取り入れたり、視覚での情報伝達を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・地域の人々に太鼓の演奏や体験、しめ縄作りを教えていただいたりしています。	・地域の方々との交流の場を設けていきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・各マニュアルを作成し、お便りとして配布しています。 ・行事予定に組み込んで、避難訓練も行っています。	・個別計画にも記載しています。 ・いろんな場面を想定した避難訓練を行い、体験をしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・月に1度、避難訓練を行っています。	・これからも続けていきたいと思っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・保護者からの情報を頂き、職員全員に周知しています。	・園からの引継ぎや医師からの指示書を預かることもあります。 ・てんかん発作が起きた時の記録もしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・保護者に食物アレルギーについてのアンケートを行い、職員で共有しています。	・食材を工夫して、みんなと一緒に食事を楽しめるようにしていきたいと思っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・子どもたちが安全で、活動できるように、設備を整えて、職員体制も整えています。	・定期的に研修を受け、計画を作成し改善しながら、子どもたちが楽しくあそべる場所をつくっていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・家族から寄せられる不安に対しては、個々に対応して、他の利用者への周知にも努めていきます。	・家族との連携が取れるように努力していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットを作成して、職員全員で把握しています。	・ヒヤリハットに基づいて、話し合い振り返りを行い、同じことを繰り返さないようにします。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・虐待防止チェックリストを年間に3回おこない、研修も受けています。	・虐待が起こらないように、話し合いを繰り返し行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・話し合いを行い、共通認識をもち、適切な対応に心がけています。	・保護者に説明し、理解を得たうえで、支援計画に記載し、適切な対応を行っています。